

総務企画部の方針書

部名	総務企画部
部長名	村田 清和

1. 部の使命(ありたい姿)

政策推進のための全体調整役としての使命を全うし、『幸せな地域社会』を実現する。	
担当政策	政策7:横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
担当施策	3-3:災害に強いまちづくりの推進 5-3:市民が利用しやすい公共交通の充実 6-3:情報を共有する環境の整備 7-1:住民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 7-3:戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・新規施設の合理的かつ効果的な計画決定と実施(公文書館、駅東口公益施設、多目的総合施設、市民ホール、等々) ・将来に向けた戦略的・計画的な人員人材配置・人材育成・能力開発の実施 ・行政経営マネジメントの推進(行政評価システム、総合戦略策定(第2次)、後期総合計画策定準備、新市建設計画改定) ・多様なツールを有効活用した情報発信・情報戦略 ・災害への予防的対応と実践的対応
--

3. 今年度の『スローガン』

<p>◇戦略的思考を持って柔軟に取り組む「チーム」であるべし！</p> <p>◇『もの』は三つの目で見ると！ 鷹の目(マクロ)、蟻の目(ミクロ)、魚の目(トレンド)</p>
--

4. 今年度の方針

<p>◇横手市役所の総合力向上のため、的確かつ効果的な後方支援を行う。【全庁マネジメント】</p> <p>◇将来への転換点となる年度であることを意識した仕事をする。【再生の年、2019・2020】</p>
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	新しい横手市、次の横手市、のプランを策定&スタートさせる
	取組内容	◇新規施設のプランニング ◇各計画の策定及び改定の実施(第2次横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略、新市建設計画、後期総合計画準備) ◇計画主導による政策実施の継続とチェック(行政評価システム、事業スクラップの検討と推進)
(2)	実現したい成果	組織力が向上し事象に対し具体的対応が出来る
	取組内容	◇戦略的・計画的な人員人材配置・人材育成・能力開発の実施(定員適正化計画、人員・人材配置検討の分離) ◇危機管理体制・対応の強化 ◇組織形態の継続検討
(3)	実現したい成果	明確な意図を持って情報を取り扱うことが出来る
	取組内容	◇情報取得方法の再検討(国・県からの情報、補助金・交付金・新制度等の情報取得) ◇情報戦略の再構築、情報発信方法・手段・内容の再構築 ◇情報リテラシーの向上(総務企画部及び全庁)

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- ・重点取組(1)について:それぞれ調整しながら進めている。下期に向かって結果が出てくるものであるため、上期は準備期間と認識している。但し、新規施設プランニングについては、議会対応の関係もあり遅れ気味。〈進捗度＝やや遅れ〉
- ・重点取組(2)について:危機管理については概ね順調に進められている。人員・人材の適正化&配置についてはこれから。育成・能力開発については、順次取り組んでいる。組織は検討継続とし、今年度は大きな変更は行わない方向としている。〈進捗度＝標準〉
- ・重点取組(3)について:全体的に遅れ気味。方法論の構築を目標としているため、集中的な議論が必要かと思われる。下期で再調整が必要。〈進捗度＝遅れ〉

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- ・重点取組(1):大規模施設についての対応方針は、3月定例会施政方針にて表明する方向で準備。出来るだけ具体的な動きまで検討しておく。総合戦略は1年延長しR2年度中に次期計画を策定する方向で調整する。(＝後期総合計画とタイミングを合わせる。議会への通知。)新市建設計画は年度末までに延長手続きを行う(～R7年度まで延長)。
- ・重点取組(2):全取り組みを現状のペースで継続することとするが、人員・人材配置検討の分離については、次年度継続検討とする(今年度検討実施は困難と判断)。
- ・重点取組(3):継続して取り組みつつペースアップを図りたい。考え方・手法の構築を目指したいものであるため、すんなりとは行かないと思うが、継続した取り組みにより少しずつでも前進させる必要あり。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- ・重点取組(1):●総合戦略、新市建設計画は1年間の延長手続き終了。→次年度にて次期計画を策定する。●大規模施設への対応方針について、3月定例会にて説明するも「市民検討委員会」の実施内容等について付帯決議が成された。→4月以降の検討会の組織化&実施の際は、逐次議会への情報提供を行う。検討に要する前提情報(施設に関連する、財政、将来像、建設の意味するところ、時間的な問題、FM計画、等)をしっかりと説明する。
- ・重点取組(2):●研修等育成関連は、様々な取り組みを行っており、十分利用され始めている。→次年度は年度内研修スケジュールの公開を行う。●人員配置案検討(経営企画)と実際の人材配置(人事)の分離実施案については未達。→次年度も検討を継続。
- ・重点取組(3):方法論の構築について未だ途中レベルのため継続して取り組む必要あり。→Society5.0の視点を踏まえつつ検討を継続する。但し、実行可能な部分においては順次実行する。●情報リテラシー向上は未達。→RPA,BIに関連してくることもあるため、リアリティーのある題材にて内部研修を行うことを検討。